【功績章】１０年以上勤続し、かつ分団長以上の職に５年以上勤務した者
【精勤章】品行方正で勤務成績が優秀で、他の模範となると認められる者
【勤続章】１５年以上勤続した者

令和７年香美市消防表彰受章者

受章名	本部・分団	階　級	氏　　名
功績章	植	分団長	宮地　泰範
精勤章	岩村	副分団長	甲藤公史郎
	山田	部　長	和田　耕二
	日ノ御子	副分団長	土居貴久男
	第１	班　長	新谷　長男
勤続章	片地	班　長	濱田　忠幸
	片地	団　員	田村　賢三
	山田	団　員	岡崎　　誠
	山田	団　員	和田　憲雄
	新改	団　員	幾井　　潤
	植	団　員	近藤　健史
	植	団　員	黒岩　昌弘
	楠目	団　員	野島　知也
	繁藤	団　員	西岡　雅彦
	曉霞	班　長	尾木　園治
	美良布	団　員	小松　良隆
	第２	班　長	信﨑　　忍
	第１	団　員	田中　完季
	第１	団　員	高橋　廣督

※「第１」「第２」は物部町内の分団名

令和７年香美市消防出初式

▶機械器具点検

１月１２日に香美市市民グラウンドで、消防職団員・関係者など約２００名が参加し、香美市消防の出初式が開催されました。

式典では、市長訓示につづき、香美市消防表彰、人員・服装点検、機械器具点検、分列行進が行われ、団員は更新された活動服を着て防災への決意を新たにしました。また、女性団員３名が司会進行や表彰の補助などを行いました。

▲表彰式

▲分列行進

さかさま不動産と連携協定

２月５日に、香美市と「さかさま不動産」事業を展開する株式会社On-Coとの間で、移住定住支援に関する連携協定が締結されました。

「さかさま不動産」は新しい形の不動産ウェブサービスで、移住希望者が自身の紹介や空き家を使って挑戦したいことなどを公開し、空き家を所有している家主はその公開された記事を読んで、応援したい方がいれば、挑戦を応援する形で空き家を提供するという仕組みです。

今後は、さかさま不動産香美支局であるＮＰＯ法人いなかみと市が協働で、サービスの普及・啓発に努めることとなっています。

▲株式会社On-Co代表の水谷岳史さん（左）と依光市長

積丹町交流事業

１月１４日～１７日にかけ３泊４日で、大栃小学校の児童９名が姉妹都市の積丹町（北海道）を訪問しました。

訪問前にはオンラインで交流し、お互いの地域や学校について知ろうとする意識を高め、そして実際に訪問することで事前に調べていたことと比較し、積丹町のことについてより深く学ぶことができました。また、積丹町ならではのかまくらづくり体験やウニランタン作成体験など、さまざまな場面で児童や地域の人々と交流し、とても貴重な経験ができた訪問となりました。

親子ピッタリタイムマラソン大会

１月２６日、土佐山田スタジアムと秦山公園ふれあい広場で「**第３回香美市子ども会連合会親子ピッタリタイムマラソン大会**」が開催されました。当日は絶好のマラソン日和で、設定した目標タイムをめざして、親子で元気いっぱいに走りました。

１位　和田誇高（山田小）・和田拓郎
（目標と実測のタイム差 －１秒）
２位　溝渕しい（山田小）・溝渕和也
（目標と実測のタイム差 ＋８秒）
３位　小松勇翔（山田小）・小松康伸
（目標と実測のタイム差 ＋１４秒）
４位　門明美玖（舟入小）・門明優姫
（目標と実測のタイム差 －２２秒）
５位　小松知聖（山田小）・小松申尚
（目標と実測のタイム差 ＋２４秒）
６位　門明咲那（舟入小）・門明秀和
（目標と実測のタイム差 －２８秒）

力走！市町村対抗駅伝

◀香美市チームの皆さん

１月２６日に宿毛市で、**２０２４年度高知県市町村対抗駅伝競走大会**が開催され、県全域から男子２６チーム（８区間３２．８km）、女子９チーム（５区間１２．９km）が参加しました。

香美市からは、男子１チームが参加し、結果は１１位でした。今回は、大会開催が５年ぶりとなること、開催地が遠方の宿毛市になることなど、厳しい状況の中でも選手一人ひとりが最善を尽くし、力走しました。

香美市チームの結果

総合タイム：1時間54分18秒　総合順位：11位（26チーム中）			
1区（5.0km）	2区（2.2km）	3区（5.1km）	4区（3.4km）
武内　陽平⑪ 16分32秒	和田　一嘉⑬ 7分47秒	渡辺　翼⑧ 17分38秒	山中　正明⑬ 12分59秒
5区（4.1km）	6区（2.3km）	7区（7.3km）	8区（3.4km）
野島　卓真⑯ 14分23秒	島﨑　嵩翔⑰ 8分2秒	宮脇　智也⑦ 24分8秒	野町　貴弘⑪ 12分49秒

※選手名の右の○数字は区間順位

片地小６年生が要望活動に参加しました

１月２９日に、物部川改修期成同盟会（南国市・香南市・香美市）から国土交通省と高知県選出の国会議員に対する要望活動が行われ、片地小学校の６年生４名も課外授業の一環として同席し、要望活動に参加しました。

依光市長が物部川の治水や利水、環境に関する課題解決に向けた要望を行った後、同校の４名が、全校児童を対象に実施したアンケート結果をグラフにまとめ、タブレットに映しながら、「きれいな川、生き物がたくさんいる川になってほしい」「物部川がみんなから大切にされ、全員が好きだと答えられる川にしたい」など、物部川に対する想いを届けました。要望後には、対応していただいた方から丁寧でわかりやすい説明があり、「心に沁みた」「皆さんの想いに応えられるように頑張っていきます」などの感想をいただき、とても充実した要望活動となりました。

さまざまな恩恵を与えてくれる物部川が、流域の住民ひとり一人にとって誇れる川となるよう、また未来を担う子どもたちへの贈り物となるよう、同盟会として、引き続き取り組んでいきます。

▲平山 南国市長（左端）、依光市長、国定勇人国土交通大臣政務官（中央）と片地小学校の児童４名

▲尾崎正直衆議院議員に熱い想いを届ける児童たち